

## 【AR と VR を使った金融機関のユーザー登録方法とシステム】 Signzy

### ① 要約：

Signzy は金融機関向けの VR サービスを提供する会社であり、デジタル化が進む金融サービス業界において、顧客とのインタラクションや複数の金融機関との取引を容易にするツールを開発しています。同社の発明は、様々なデータセットや金融サービスの具体的な内容を組み合わせ、仮想的な金融機関の設計を支援するものです。

### ② 目的：

Signzy の目的は、金融機関に対して、デジタル化された仮想店舗を構築するためのツールを提供することです。同社の VR サービスは、顧客とのやり取りや取引をスムーズに行えるようにし、複数の金融機関がこのプラットフォームを利用して取引できる環境を作り出すことを目指しています。

### ③ 新規性：

この発明は、他の類似のツールやサービスと比較した場合に、独自性があると言えます。ここでは金融機関のデータや特徴を考慮し、複数のデータセットを組み合わせることで効果的な仮想金融機関を生成する方法を提案しています。また、この VR サービスは、金融機関の顧客とのインタラクションを実現するための新しいアプローチを取っており、他の類似サービスとは異なる特徴を持っています。

### ④ 独自性：

この発明は、Signzy の独自の技術やアプローチに基づいているため、独自性があると言えます。この VR サービスは、金融機関の要件に合わせてカスタマイズ可能であり、個々の金融機関の特徴やニーズに対応することができます。また、他の競合他社とは異なる方法で金融機関のデジタル化を支援するものであり、独自の価値を提供しています。

### ⑤ 経済価値：

この発明は、金融機関業界におけるデジタル化の進展に対応するソリューションを提供することから、経済価値を持っていると言えます。この VR サービスは、金融取引のデジタル化を可能にし、顧客とのインタラクションを改善することで、金融機関の効率性や競争力を向上させることが期待されます。また、このプラットフォームは他の金融機関との取引を容易にするため、金融業界全体の効率化にも貢献する可能性があり、経済的な価値を創出すると考えられます。